

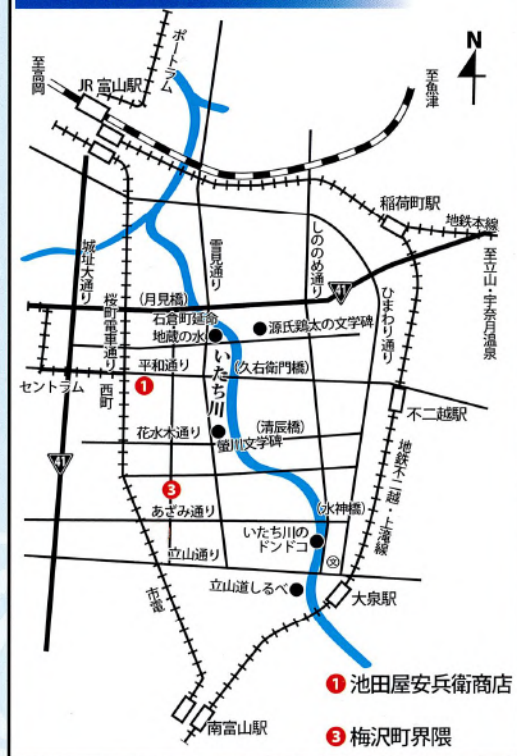
いたちがわ

地蔵尊めぐりマップ

にこやかな石仏に語りかけてみませんか

いたち川沿いには、たくさんの地藏さんや、仏様が安置されています。大泉駅上流から、松川の合流口までの約2.7kmの間に、それぞれの由来や歴史を秘めて19体ののお地藏さんが祀られて、21本の橋が架けられています。いたち川の風情をめでもながら、探訪と再発見のお地藏さんめぐりに出かけましょう。

いたち川周辺図



凡例

寺院	神社	橋	石碑・銅像
バス停	わき水	トイレ	駐車場
郵便ポスト			

いたち川の名前の由来

いたち川は常願寺川堤防にいたちのあけた穴が大きくなって川になったと言われています。しかし、実際のところは、農業用水を引くために、人々の労力を使って川を作りました。このような公の使役は「えだち」と呼ばれ、「えだち」でできた川、すなわち「えだち川」からいたち川になったというのが本当らしいです。

鰐川(いたちがわ)

富山市の中心部を流れる、長さ約13kmの河川。佐々成政入国前から存在していたものの、天正8年(1580)の氾濫によって一帯は泥海と化して埋没。成政が濁流の流路を生かしていたち川の治水事業に取り組んだ。これにより富山城の守りを固め、また水害の防止や灌漑の開拓にも大きく役立った。

いたち川の名前の由来

いたち川は常願寺川堤防にいたちのあけた穴が大きくなって川になったと言われています。しかし、実際のところは、農薬用水を引くために、人々の労力を使って川を作りました。このような公の使役は「えだち」と呼ばれ、「えだち」でできた川、すなわち「えだち川」からいたち川になったというのが本当らしいです。

鼈川(いたちがわ)

富山市の中心部を流れる、長さ約13kmの河川。佐々成政入国前から存在していたものの、天正8年(1580)の氾濫によって一帯は泥海と化して埋没。成政が濁流の流路を生かしていちいち川の治水事業に取り組んだ。これにより富山城の守りを固め、また水害の防止や原野の開拓にも大いに役立った。

流れ豊かな いたち川と きらめく名水の石倉町延命地藏尊



★石倉町延命地藏尊の由来

安政5年3月(1858年)の大地震で、大高山が崩れ常願寺川の濁流が富山の町を襲いました。石倉町に住む働き者で気の優しい晒屋甚九郎が夢枕に現れたお地藏さんを、川底から引き上げて祀ったところ、疫病で苦しむたくさんの命が救われました。

昭和20年8月(1945年)の大空襲で本堂が焼け落ちましたが、ご本尊は変わらぬ笑みをたたえて、奇跡的にその姿を残されました。その10年後、井波彫刻の粋を集めて南部白雲により現在の総樺(ケヤキ)造りの本堂が再建されました。

★仏様のご利益

このお地藏さんは、延命、厄除けの仏様として、古くからたくさんの人々が信心してお参りに訪れます。そのご利益は、家業の繁盛、病気の治療、子授け、失せ物、学業上達など数え上げればきりがありません。

こんな豊かな自然の贈り物に恵まれて、日々幸せに暮らせるのも、御仏のご加護にほかなりません。飢饉や戦争で不幸な人々を思うとき、あらためて心から感謝しなくてはならないと思います。

石倉町延命地藏尊奉賛会

なりたち

常願寺川から分かれ神通川に注ぐいたち川は富山市内をゆったり流れています。住む人に季節のうつろいを楽しませ、やすらぎを与えてくれるやさしい川です。

その昔、洪水や地震が起きるたびに大きな被害が出ました。国や県ではたくさんの人やお金を使って、今でも被害を防ぐ努力をしています。

わき出る名水

立山の雪解け水の伏流水が、どういふ訳か町の中に湧き出て、美味しい水として昭和61年に富山県名水100選に指定されました。Na、Ca、Mg、Kなどのミネラルを含み、お茶・コーヒー・水割り・炊飯など、使い始めるとやめられないといいます。夏は冷たく冬暖かいこの水は水温が15℃で一年中変わることはありません。ノーベル賞を受けられた田中耕一先生も子供の頃この水を飲まれて頭が良くなったといわれ、受験生もこれにあやかうとお参りに来るようになりました。

夏の地藏尊祭り

7月23日・24日に行われる、年に一度の最大イベント地藏尊祭りには、よそへ移り住んだ人たちも若い頃過ごした思い出の町を訪れます。地藏堂の再建を祝ってつくられた、石倉町地藏音頭(平野昌三作詞・作曲、花柳香寿野振付)が過ぎし日の郷愁を誘い、戦災で亡くなった町内外の霊を赦なす読経で供養が行われます。さらに町内有志の御詠歌がしめやかに詠われます。100円の地藏くじが売られ、その日のうちに豪華景品?が当たるのも楽しみの一つです。

川沿い8ヶ町が辰巳町、興国寺・住職桃井大節さんの呼びかけで、灯籠流しをはじめたのは今から16年前で、それぞれの思いを込めたほのかな灯りが川面を下ります。



切り絵/梶川 之男



① 池田屋安兵衛商店 電話: 076(425)1871

薬都とやまの伝統を今に受けつぐ薬の老舗。越中反魂丹をはじめ数十種の自家製和漢薬などを昔ながらの座売りで販売。丸薬作りの実演と体験もおこなえます。2Fの健康膳 薬都では薬膳料理を堪能いただけます。

② 広貴堂資料館 電話: 076(424)2310 閉館しました。

くすりの広貴堂の資料館。越中売薬ならではの顧客管理簿「懸帳帳」や古文書、売薬版画、売薬さんが使っていた柳行李など貴重な資料を展示しています。薬の歴史や現代の製法を紹介した映像コーナーも好評です。六神丸をはじめ各種お薬も販売しています。

③ 梅沢町界隈の寺院群

富山藩主前田家が新川平野に広がる南側の防御のため、富山城下南東の端に寺院を集め寺町を作ったのがはじまりであるとされる。宗派に関係なくたくさんの寺院があり、歴史の変遷やエピソードなど見て、聞いて楽しめるエリアです。



いたち川周辺のみどころ

※表面のいたち川周辺図をご覧ください